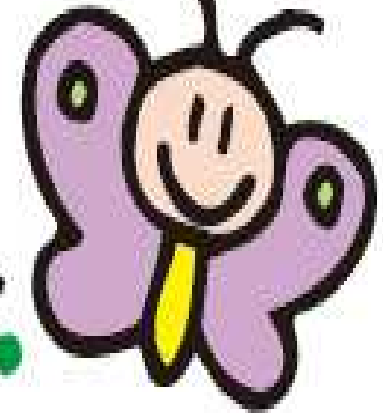




小学校教育とのつながり
について



第一亀戸幼稚園の紹介

園長(校長) 関 哲也



- 第一亀戸幼稚園は小学校との併設園です。
園長は、第一亀戸小学校の校長でもあります。
- 江東区には、小学校との併設幼稚園が全部で6園あります。
どの園も、年中4歳児、年長5歳児各1クラスではありますが、
併設園の特色を生かした様々な教育活動を展開しています。

一亀の併設園ならではの教育活動を紹介

1 継続した交流活動

- ・ 交流の始まり …… 年中4歳児と4年生から



そのまま、年長5歳児と5年生の交流へ



小学校に入ると、1年生と6年生の交流へ

- ・ 最長3年間の交流

日常的に顔を合わせるので
名前呼び合うこともできるように！

交流活動の紹介

① 小学生が幼稚園で読み聞かせ

こどもたちの中には中国語や英語にも対応できる子がいて、教師よりすごいです。

② 幼稚園や小学校の体育館で一緒に遊ぶ

③ 節分の豆まき

5年生が鬼になって、いきなり幼稚園に登場なんていう場面もあります。小学校のお兄さん、お姉さんとの交流に大喜びです。



④ 小学校の運動会の練習を見学

園児が練習を見学したり、
応援したりします。
去年は、年長児が5年生
からダンスを直接教えて
もらいました。



⑤ 年長児が5年生に教えてもらったダンスを披露



2 小学校教員による出前授業や施設利用

- ・ 幼稚園と小学校の正門や玄関は別ですが、同じ敷地内、校舎の一部にあります。
週1時間は小学校の時間割の中に幼稚園が校庭、体育館を使用できる時間を設定してあります。
- ・ 小学校の給食の時間には、幼稚園が校庭を自由に使えます。年に1回だけですが、小学校の大きなプールに入ることもしています。

⑥ 小学校の教員が運動遊びを教えることも



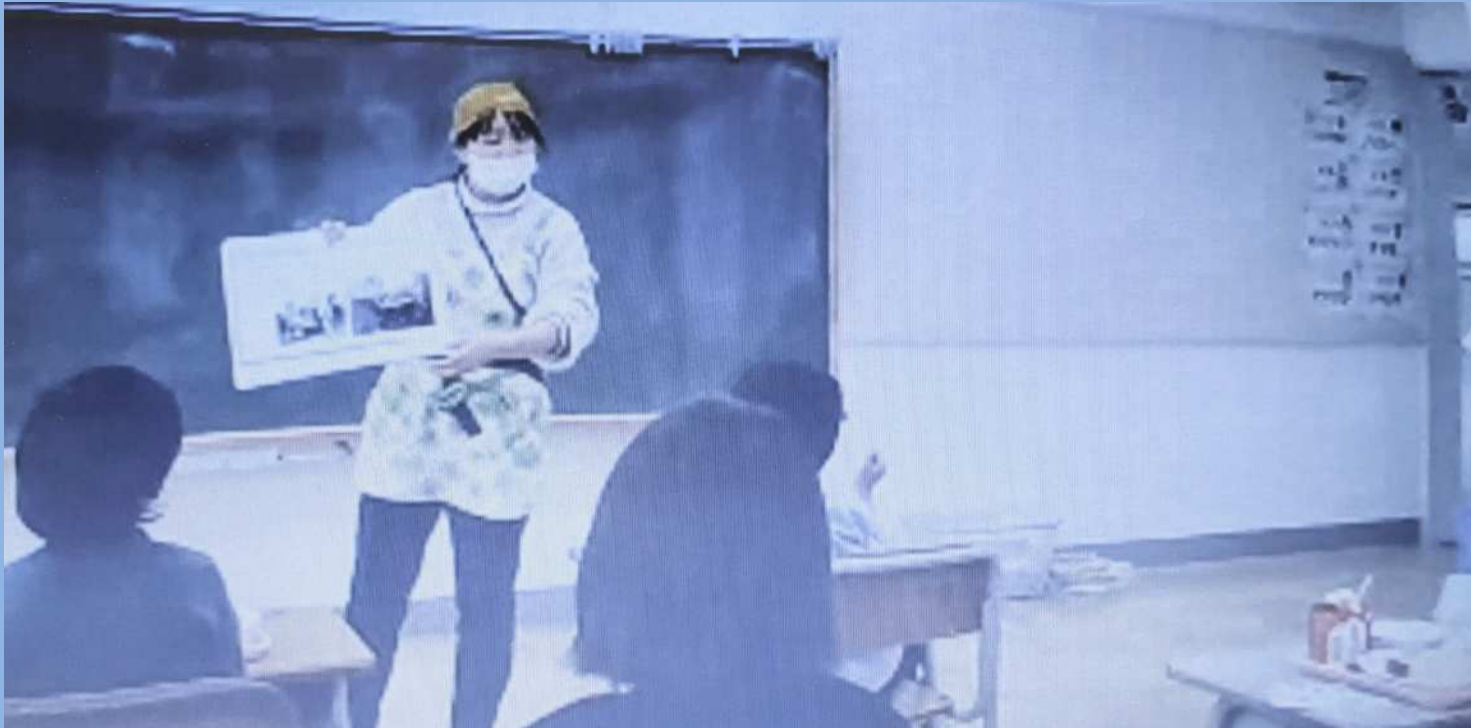
⑦ 図工専科の教員と造形遊びや作品を見に行くことも



小学校の教員との交流から、こどもたちは小学校の学び方にふれることができます。また、教員が幼稚園の教育を理解する場ともなっており、幼小連携の一つとも言えます。

⑧ 1年生と一緒に授業体験や給食体験

学校の教室で給食を食べる機会も設けています。
栄養士が食育指導をしています。



- 日常のふれあいや、年間を通じた計画的な交流から、小学校に顔見知りのお兄さんお姉さんがいる、小学校のことが少し分かっていることになり、それがあこがれや安心感につながります。
- このように、併設園では、その特徴を十分に活用して、園児に様々な機会を提供しています。